

NY マーケットレポート (2016年11月16日)

昨夜の外国為替市場では、12月の米国の追加利上げが意識されたことからドル買い・円売りが進み、欧州タイムで一時109.76まで上昇し、6月1日以来の高値を付ける動きとなった。しかし、その後は利益確定の動きなどもあり、NY市場では上値の重い展開で始まった。そして、序盤に発表された米生産者物価指数、鉱工業生産が市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、株価が軟調な動きとなったこともあり、クロス円も上値の重い動きとなった。その後、ロシア石油相の「30日のOPEC総会で合意成立の可能性は高い」との発言が伝わったことから、原油価格が1ドル以上の急騰となり、円売りが優勢となったことから、ドル円・クロス円は値を戻す場面もあった。しかし、米長期債の利回りの低下が続いたことや、上昇した原油価格が下落に転じたこともあり、ドル円・クロス円は終盤まで上値の重い動きが続いた。

2016年11月16日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.46	109.51	108.81
EUR/JPY	117.16	117.45	116.81
GBP/JPY	136.55	136.75	135.66
AUD/JPY	82.35	82.60	82.16
EUR/USD	1.0706	1.0760	1.0700

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.76	109.33
EUR/JPY	117.49	117.12
GBP/JPY	136.77	136.09
AUD/JPY	82.50	81.72
EUR/USD	1.0730	1.0688

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.10	109.64	109.06
EUR/JPY	116.58	117.28	116.53
GBP/JPY	135.70	136.43	135.65
AUD/JPY	81.58	81.91	81.49
NZD/JPY	77.14	77.37	77.02
EUR/USD	1.0678	1.0723	1.0667
AUD/USD	0.7478	0.7497	0.7462

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18868.14	-54.92
S&P500	2176.94	-3.45
NASDAQ	5294.59	+18.96
日経225 (CME)	17780	-120
トロント総合	14733.22	-22.88
ボルサ指数	44901.57	-122.08
ボベスパ指数	60759.32	+1101.85

11/17 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月対内外証券投資
09:00	【ニュージーランド】11月ANZ消費者信頼感指数
09:30	【シンガポール】10月輸出[除石油]
09:30	【シンガポール】10月電子機器輸出
09:30	【オーストラリア】10月失業率
09:30	【オーストラリア】10月雇用者数
09:30	【オーストラリア】10月労働参加率
15:30	【フランス】3Q ILO失業率統計
16:00	【欧州】10月新車登録台数[EU-27]
17:30	【スウェーデン】10月失業率
17:30	【香港】10月失業率
18:30	【英国】10月小売売上高指数
19:00	【欧州】9月建設支出
19:00	【欧州】10月消費者物価指数
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【米国】10月消費者物価指数
22:30	【米国】10月住宅着工件数
22:30	【米国】10月建設許可件数
22:30	【米国】11月フィラデルフィア連銀景況指数
22:30	【カナダ】9月国際証券取扱高
04:00	【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1223.90	-0.60
NY 原油	45.57	-0.24
CME コーン	346.50	-2.75
CBOT 大豆	985.75	-3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.001%	1.001%
3年債	1.275%	1.277%
5年債	1.667%	1.665%
7年債	2.012%	2.019%
10年債	2.215%	2.231%
30年債	2.921%	2.969%

ドイツ10年債	0.297%	0.308%
英国10年債	1.383%	1.379%

11/17 主要会議・講演・その他予定

- ・米10年TIPS債入札
- ・ブレイナードFRB理事 講演
- ・イエレンFRB議長 議会証言

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -9.2% (前回 -1.2%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	11/11	11/4	10/28	10/21	10/14	前年同期
申請指数	-9.2	-1.2	-1.2	-4.1	0.6	0.6
購入	-6.2	1.4	-0.4	-6.9	3.0	-7.4
借換え	-10.9	-2.7	-1.6	-2.3	-0.8	6.8
固定金利	-9.4	-1.2	-1.4	-4.3	0.7	2.2
変動金利	-4.1	-0.7	3.5	-0.1	-0.1	-24.5

固定金利 30 年 . . . 3.95 . . 3.77 . . 3.75 . . 3.71 . . 3.73

固定金利 15 年 . . . 3.15 . . 3.03 . . 3.04 . . 3.01 . . 3.03

22 : 30

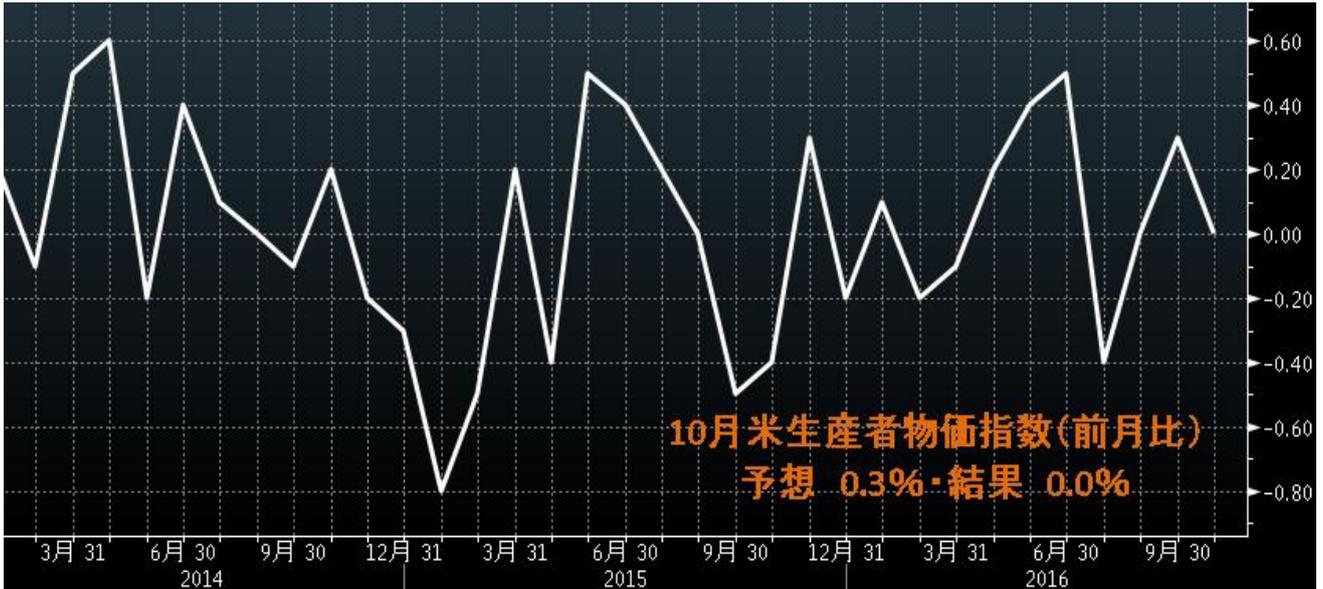
◀ 経済指標の結果 ▶

10 月米生産者物価指数 (前月比) 0.0% (予想 0.3%・前回 0.3%)

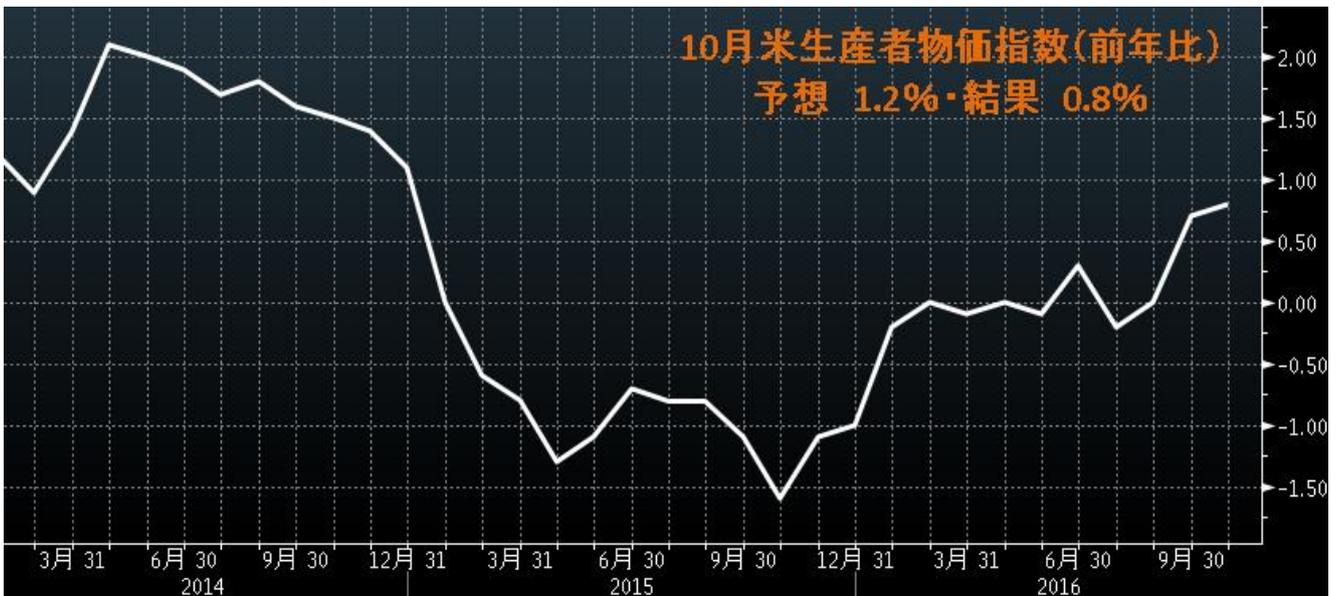
10 月米生産者物価指数[コア] (前月比) -0.2% (予想 0.2%・前回 0.2%)

10 月米生産者物価指数 (前年比) 0.8% (予想 1.2%・前回 0.7%)

10 月米生産者物価指数[コア] (前年比) 1.2% (予想 1.6%・前回 1.2%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《生産者物価指数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
最終需要	0.0	0.3	0.0	-0.4	-0.5	0.3
消費財	0.4	0.7	-0.4	-0.4	-0.7	0.8
食料品	-0.8	0.5	-1.6	-1.1	-0.8	0.6
エネルギー全体	2.5	2.5	-0.8	-1.0	-3.4	3.7
除く食品・エネルギー	0.1	0.3	0.1	0.0	-0.1	0.2
サービス	-0.3	0.1	0.1	-0.3	-0.4	0.0

10月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合指数が前月比0.0%となり、市場予想の+0.3%を下回る結果となった。前年同月比では+0.8%だった。モノの物価指数が上がった一方で、サービスが低下したことが影響した。変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは、前月比-0.2%、前年同月比は+1.2%だった。また、食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは、前月比-0.1%、前年同月比では+1.6%だった。モノは、前月比で+0.4%、前年同月比では+0.3%となり、2014年11月以来の伸びとなった。ガソリンなどのエネルギー価格は、前月比+2.5%、食品は生卵や野菜の価格の低下が影響して-0.8%。サービスは前月比-0.3%、うち貿易は-0.3%、輸送・倉庫は+0.2%だった。サービス全体の前年同月比は+1.1%だった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月カナダ製造業売上高（前月比） 0.3%（予想 0.1%・前回 0.9%）

23 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米鉱工業生産（前月比） 0.0%（予想 0.2%・前回 -0.2%）
 前回発表の0.1%から-0.2%に修正

10月米設備稼働率 75.3%（予想 75.5%・前回 75.4%）

10月米製造業生産 0.2%（予想 0.3%・前回 0.2%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

≪米鉱工業生産・設備稼働率≫

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
鉱工業生産	0.0	-0.2	-0.1	0.4	0.5	-0.1
製造業	0.2	0.2	-0.5	0.3	0.3	-0.2
鉱業	2.1	-0.4	0.0	0.7	-0.1	0.8
最終財	-0.1	0.0	-0.1	0.1	0.6	-0.3
原材料	0.2	-0.6	0.0	0.5	0.7	0.1
設備稼働率	75.3	75.4	75.6	75.7	75.4	75.1
製造業	74.9	74.8	74.7	75.2	75.0	74.8
鉱業	77.0	75.2	75.3	75.1	74.3	74.1

10月の米鉱工業生産指数は、前月比0.0%となり、市場予想の+0.2%を下回る結果となった。前年同月比では-0.9%となった。生産指数は、製造業が前月比+0.2%と2ヵ月連続のプラス、電力・ガスは-2.6%と2ヵ月連続のマイナスとなった。鉱業は+2.1%と2014年3月以来の高い伸びとなった。また、10月の設備稼働率は、市場予想の75.5%を下回り、前月比0.1ポイント低下の75.3%と3ヵ月連続の低下となった。

23:40

≪ 要人発言 ≫

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「12月金利決定の前にデータを検証」
- ・「コアインフレ、失業率を検証している」

0:00

≪ 経済指標の結果 ≫

11月米NAHB住宅市場指数 63 (予想 63・前回 63)



出所：Bloomberg

指標結果データ

≪NAHB住宅市場指数≫

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
住宅市場指数	63	63	65	60	58	60
現状指数	69	69	71	65	63	64
見通し指数	69	72	71	67	66	69
顧客動向指数	47	46	48	44	45	46

NAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、市場予想と一致の 63 と前月と変わらずとなり、今年の最高に近い水準を維持した。関連指数では、現況指数は 69（前月 69）、向こう 6 ヶ月の販売見通しは 69（71）、購買見込み客足指数は 47（前月 46）、住宅市場指数は、全米 4 地域中、北東部、中西部、西部の 3 地域で上昇。南部は横ばいだった。当該指数では、50 を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

0 : 30

＜EIA 米週間在庫統計＞

原油在庫・・・527 万バレル増加
 ガソリン在庫・・・74.6 万バレル増加
 留出油在庫・・・31.0 万バレル増加
 クッシング原油在庫・・・69.1 万バレル増加

0 : 45

＜ 要人発言 ＞

ロシアのエネルギー相

・「30 日の OPEC 総会で合意成立の可能性高い」

0 : 55

原油価格は 1 バレル=1 ドル以上の上昇



カナダドル円, 5分足, #100



出所：Net Dania

《ポイント》

IEA（国際エネルギー機関）の世界エネルギー見通しで、地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」で定めた取り組みが実行に移された場合、原油価格は2020年に1バレル＝79ドルと2015年の51ドルから約55%上昇するとした。ただ、IEAの事務局長は「石油価格が大きく変動する時期に入った」と指摘。IEAは、生産の効率化などで2020年代前半まで1バレル＝50～60ドルの安値水準が続く可能性が排除できないとする一方、原油採掘への投資減少が長引けば需給のバランスが崩れ、価格の急上昇を招くおそれも指摘した。

《欧州のポイント》

①英国立統計局が発表した7-9月のILO英失業率は4.8%と、市場予想の4.9%を下回り、11年ぶりの低水準となった。今回は6月にEU離脱が決定して以来、初めて発表された雇用関連の統計となる。ただ、労働者数は前期比+4.9万人と1-3月以来の小さな伸びとなるなど、今後の労働市場については鈍化の兆候も見られた。10月の英失業保険申請件数は+9800件（前月+5600件）と5月以来の大きな伸びとなった。7-9月の賃金は前年比+2.3%と伸び率は前期比横ばいとなり、市場予想の+2.4%は下回った。また、ボーナスを除いた賃金は+2.4%と市場予想と一致した。

②ツアブリュック・スイス中銀副総裁は、金融危機とユーロ圏の債務危機によって安全資産とされるスイスフランが押し上げられて以降、為替市場への介入がますます重要なツールとなっていると指摘し、物価と経済の安定維持に必要な政策措置を講じる用意があると表明した。一方、ジョルダン総裁も「スイスの最も重要な通商パートナーの経済状況は一定の改善をみせたが、引き続きかなりの不透明感がある」と指摘。特にマイナス金利政策は、依然として過剰評価されているスイスフランに影響しており、中銀は必要なら外為市場で措置を講じると述べた。

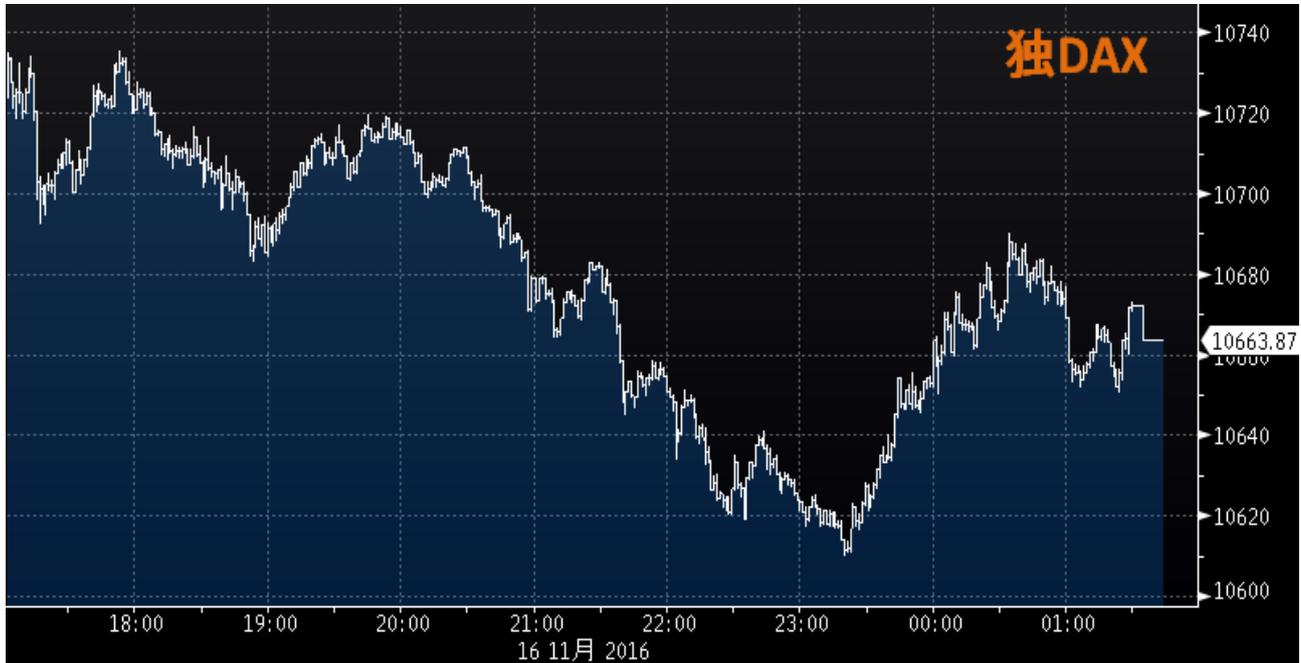
《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、12月の米追加利上げへの警戒感などから早朝の取引で売られたが、その後は10月の米生産者物価指数や鉱工業生産指数がいずれも市場予想を下回ったことをきっかけに買い戻しも入り、下げ幅が縮小した。

午前の利回りは、30年債が2.94%（前日2.97%）、10年債が2.24%（2.23%）、7年債が2.04%（2.01%）、5年債が1.70%（1.66%）、3年債が1.30%（1.28%）、2年債が1.02%（1.00%）。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、新規材料に乏しく方向感に乏しい中、このところの上昇を受けて、利益確定の売りが先行した。主要株価は終盤まで軟調な動きが続いた。

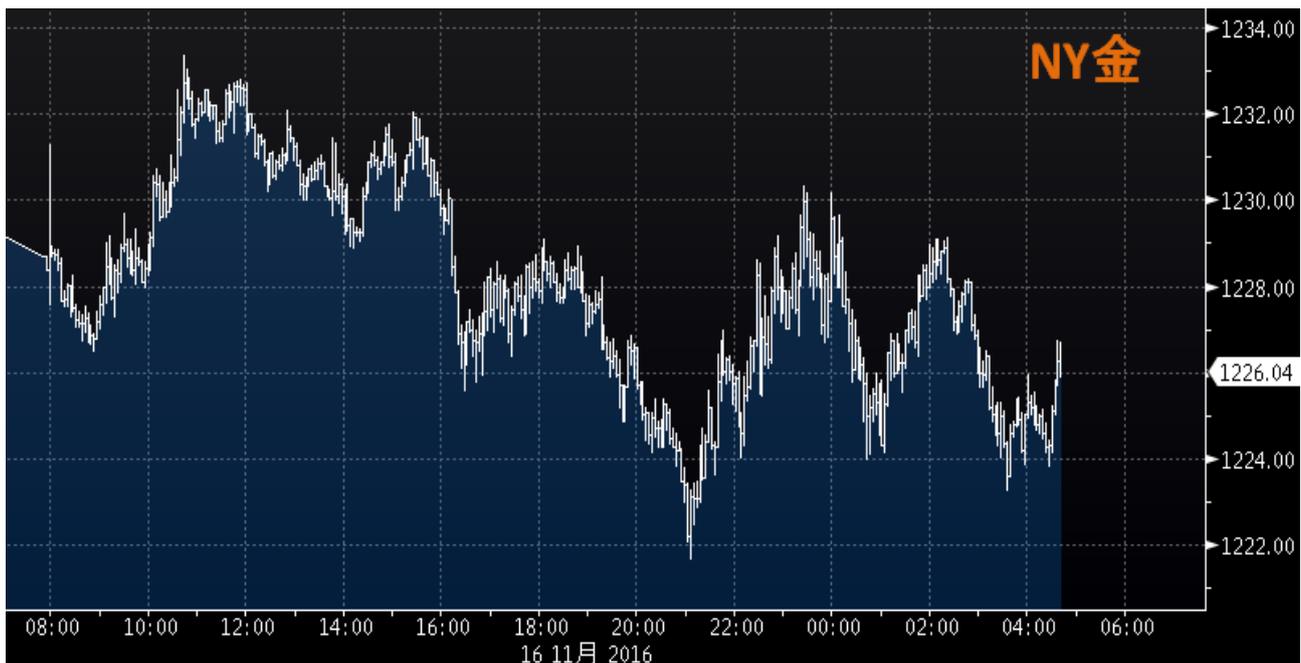


出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 0.60 ドル安の 1 オンス=1223.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが先行した。ただ、このところの相場下落で値頃感の買いも入り、下げ幅は限定的だった。

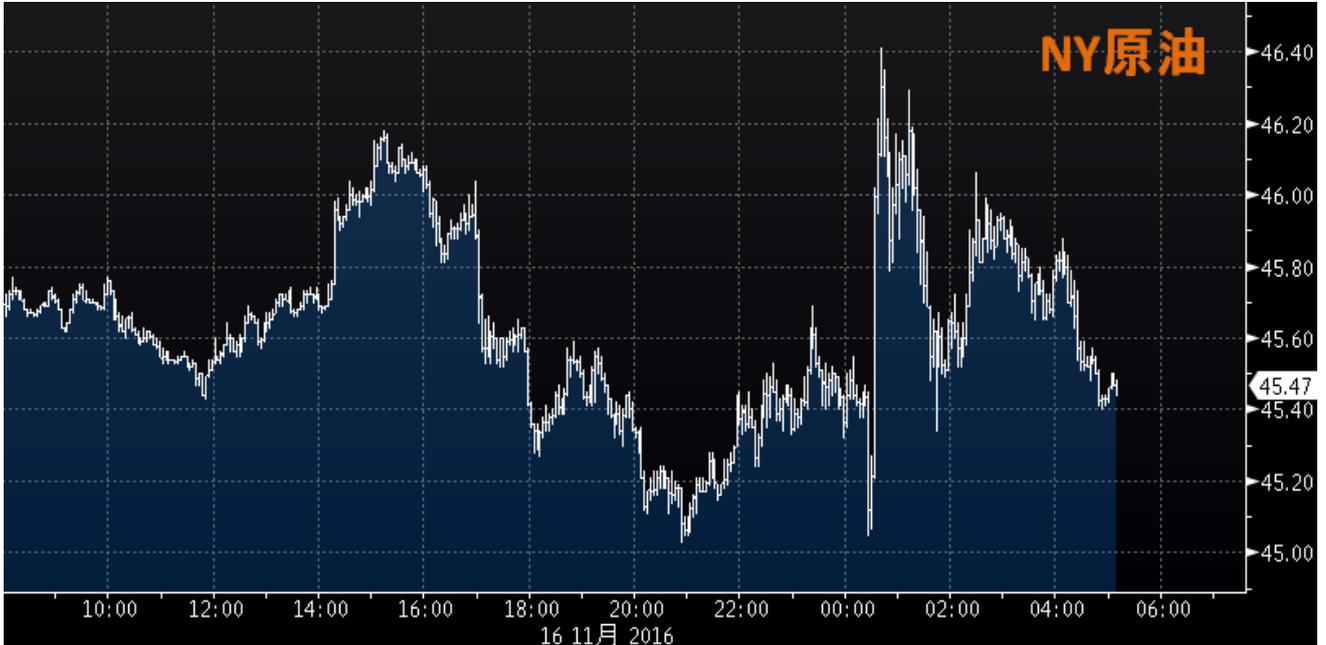


出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、中心限月が前日比0.24ドル安の1バレル=45.57ドルで取引を終了した。

NY原油は、米石油統計で原油在庫が市場予想以上に増えたことから供給過剰が意識され、売りが優勢となった。ただ、ロシアのノバク・エネルギー相が原油の生産調整について、OPECの決定を支持する姿勢を示したとの報道を受けて買われる場面もあった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、ダウ平均が前日まで7営業日連続で値上がりしたこと、利益確定の売りが先行し、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。その後は下げ一服感から下げ幅を縮小する動きが見られたものの、上値の重い動きが続いた。なお、ハイテク株中心のナスダックは序盤にプラス圏まで反発し、底固い動きが続いた。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を下回る結果が続いたことから、ドルは軟調な動きとなった。また、このところ上昇が続いたことから、利益確定の動きも見られた。その後、原油価格の急反発もあり、ドル円・クロス円は値を戻す動きが見られたものの、株価の下落や、原油価格が下落に転じたこともあり、上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。